

# 身近な防災について知ろう

地域の防災情報を知り、  
もしもの時に備えましょう！



# 日頃の備えと確認

- ・ **ハザードマップ**や自宅での**備蓄**などの確認をする。
  - ・ 自分や家族の避難のタイミングを確認する。
  - ・ 自宅で安全を確保できる場合は在宅避難を基本とした避難行動をとる。
- ➡避難所に行くだけが避難ではありません。  
親戚や友人宅など避難所以外に避難できる場所  
(= **分散避難**)の確認もしておきましょう。



# 防災グッズ

## 防災グッズの3段階

### ①常時持ち歩くもの

…もしもの時に役に立つ最低限のもの

### ②災害直後に持ち出すもの

…防災リュックに入れて避難時に持っていく

### ③長期化に備えるもの 約1週間分

…自宅避難に備えた備蓄

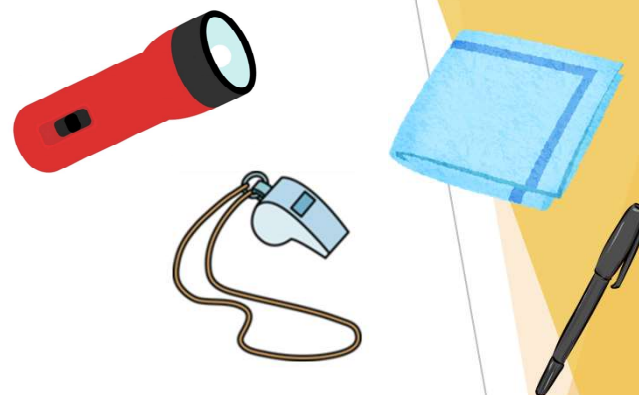
冷蔵庫にある傷みやすい食料 ➡ 非常食に切り替え  
(災害後～2, 3日) (～7日)

リストで確認  
しましょう!

# 防災グッズ

## ①常時持ち歩くもの

- ・ 笛
- ・ ミニ懐中電灯
- ・ スカーフまたは木綿のハンカチ
- ・ ポリ袋
- ・ 油性ペン
- ・ 連絡先の電話番号
- ・ 家族写真



その他に…

- ・ スマホ充電器
- ・ メガネ
- ・ ラジオ

# 防災グッズ

## ②災害直後に持ち出すもの

- ・ 軍手
- ・ タオル
- ・ 笛
- ・ 懐中電灯
- ・ ライター
- ・ 電池
- ・ ゴミ袋
- ・ コップ
- ・ 携帯バッテリー
- ・ 保温アルミシート
- ・ ウェットシート
- ・ ティッシュ
- ・ 雨合羽
- ・ 上着
- ・ マスク
- ・ 絆創膏
- ・ ラップ
- ・ 缶切り
- ・ レトルト食品
- ・ 缶詰め
- ・ 水



# 通信や情報把握の手段



## 災害直後は情報が混乱しやすい！

- ➡緊急エリアメールの設定など、平時から情報源の確認をしましょう。  
SNSも便利ですが、正しい情報を選ぶ判断が大切になります。

## 充電をして備えましょう！

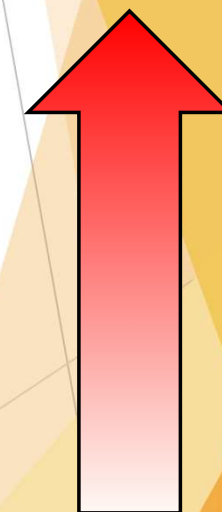
- ➡現代は携帯電話が主な通信手段になっています。  
緊急時は連絡が殺到して繋がりにづらくなります。必要以上に電池を消耗するため、日頃からの十分な充電やモバイルバッテリーなどがあると安心です。また、車内避難になる可能性もあるため、車のガソリンも補充しておくことが望ましいです。

# 災害の危険度

令和元年6月より、行政から発信される災害の危険度が5段階のレベルで示されることとなりました。

警戒レベル	防災情報	発表者	住民がとるべき行動
5	災害発生情報	市町村	命を守る最善の行動
4	避難指示（緊急）、避難勧告	市町村	全員が避難（完了）する
3	避難準備・高齢者等避難開始	市町村	高齢者等は避難開始
2	注意報	気象庁	避難行動の確認
1	警戒級の可能性（注意情報）	気象庁	災害への心構え

危険度  
高い



低い

出典：境港市 防災情報

# 災害の危険度

★避難に時間がかかる人は、**警戒レベル3**で避難を始めましょう。

★**避難勧告(警戒レベル4)**または**避難指示(警戒レベル4)**が  
発表されたら、躊躇せず直ちに避難してください。

★**警戒レベル5**は、すでに災害が発生している状況です。  
この段階での屋外への避難はかなり危険です。  
自宅内での垂直避難など、  
命を守る最善の行動をとりましょう。





# 福祉避難所

…災害時に障がい者や高齢者など、  
特別な配慮を必要とする人とその介護者を対象とした避難所。



※まずは、指定避難所に避難をしてください。

※指定避難所での避難生活が困難な方を受け入れる施設です。  
指定避難所の状況等を踏まえ、受入れ施設を調整します。



**介護老人保健施設はまかぜも  
境港市の福祉避難所に指定されています！**

# 災害時の新型コロナウイルス感染症対策

避難所では

「**3つの密（密閉・密集・密接）**」が重なりやすく、  
感染リスクが高くなると考えられます。



境港市でも、

- ・ 避難所の開設数を増やす
  - ・ 密集・密接を避けるためのスペースの確保
  - ・ 換気や衛生対策の徹底
- などに取り組んでいます。

# 避難所での感染症対策

- ・避難の際にはマスクなどの感染防止対策を行なう。
- ・発熱・咳などの症状がある場合は申し出る。
- ・他の避難者と十分な距離をとるように心がける。
- ・避難所ではこまめな手洗いや咳エチケットなど、基本的な感染対策を行なう。

**私たち一人一人も、感染症対策を踏まえながら、  
日頃の備えと災害時の避難行動を改めて確認しましょう。**



## まとめ

- ①災害はいつ・どこで起きるかわかりません。  
過去の災害から学び、減災の為にできる備えを  
しましょう。
- ②災害時には命を守ることを最優先に考え、  
危険度に応じた行動をとりましょう。

まずは、境港市の作成している  
ハザードマップやホームページなどを確認し、  
身近な防災から考えてみましょう！

